

福島県警交通機動隊集結式・ 出動式に参加



↑ 整然と並ぶ福島県警交通機動隊

遠藤町長は、4月20日、広野町公民館前駐車場で行われた福島県警交通機動隊集結式・出動式に参加し、隊員に対し激励の言葉を述べました。

集結式・出動式には、いわき分駐隊をはじめ福島、郡山、南相馬の各交通機動隊が一堂に会し、隊員らは双葉警察署長のもと、双葉地方の交通安全確保に尽くすことを誓いました。

式には広野町保育所の児童が見学を訪れ、制服に身を包んだ隊員が乗る白バイやパトカーに歓声を上げ、出発の際は手を振って見送りました。

熊本地震の被災地に支援物資を送る

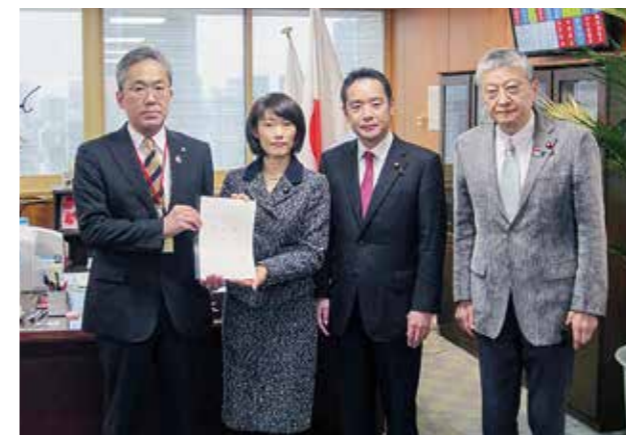


↑ 荷卸しを手伝う人々（熊本市立江南中学校）

4月18日、熊本地震の被災地に向け、支援物資(500mlペットボトルの水6000本)を送り、19日に避難所となっている熊本市立江南中学校に無事到着しました。後日、江南中学校酒井康範校長からお礼のメッセージをいただきました。

このほか、福島県看護協会から町に派遣されていた熊本市在住の看護師を通して、生理用品や紙おむつなどの支援物資を、避難所となっている熊本市立山ノ内小学校、井芹中学校などへ送りました。

里山再生支援を要望



↑ 環境大臣に要望書を提出する町長

広野町は、3月22日、東京都内で環境省、林野庁および復興庁に対して里山再生事業に関する要望活動を実施しました。内容は、①除染後の放射線量が毎時0.23マイクロシーベルト以下とならない場合の追加除染の実施、②山間部集落での住宅敷地境界20メートル以遠の除染、③森林公園までの連絡道（林道）の除染、④「ふくしま森林再生事業」への財源確保などで、遠藤町長が丸川珠代環境大臣、高木毅復興大臣および今井敏林野庁長官それぞれに要望書を手渡しました。

総合振興計画審議会が 町勢振興計画基本計画案などを答申



↑ 町勢振興計画基本計画案などを答申する黒田委員長

3月25日、広野町総合振興計画審議会（黒田政徳委員長）は、広野町役場で遠藤町長に「第五次広野町町勢振興計画」基本計画案および「広野町国土利用計画（第二次）」案を答申しました。町は、平成22年度に「第四次広野町町勢振興計画」を策定済みですが、東日本大震災および福島第一原発事故で環境が激変したことから、全面改定することとなりました。

土地改良区総代総選挙当選者に 当選証書を付与



↑ 当選証書を受け取る土地改良区総代

3月22日、広野町役場で「広野町土地改良区総代総選挙当選証書付与式」を行い、大和田高男広野町選挙管理委員長が、当選者一人ひとりに当選証書を手渡しました。新しい総代は32人で、任期は平成28年3月22日から平成32年3月22日までです。（新しい総代の名簿は4月号で既報）

鳥獣被害対策実施隊に任命



↑ 農作物の被害軽減に向けて意見交換

4月1日、広野町鳥獣被害対策協議会総会が広野町役場で開かれ、6人の隊員に遠藤町長から任命書が手渡されました。隊長には根本一夫さんが就任し、総会では鳥獣による農作物への被害軽減に向けた取組みについて意見が交わされました。

隊員の任期は平成28年4月1日から平成30年3月31日までです。

環境美化推進員、 公害環境監視員に委嘱状を交付



↑ 委嘱状の交付を受けられた皆さん

4月8日、広野町役場で環境美化推進員8人と、公害環境監視員1人に委嘱状を交付しました。委嘱された9人は遠藤町長と懇談し、町内環境保全に尽力したいと話しました。

任期は、それぞれ平成28年4月1日から平成30年3月31日までです。

復興副大臣らが応急仮設住宅で 意見交換



↑ 復興副大臣らによる応急仮設住宅での意見交換の様子

3月30日、若松兼維復興副大臣と豊田真由子復興大臣政務官がいわき市四倉町鬼越応急仮設住宅で、居住者らと意見交換をしました。遠藤町長と菅野副町長も同席しました。